

ぬかづけ 日記 連載⑦

白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子

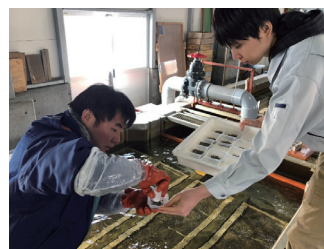


Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
結婚情報誌「ゼクシィ」、
転職情報サイト「doda」な
どの広告制作、タイ国政府
観光庁発刊ガイドブック作
成などの企画・編集に携わ
っていた。2019年4月から
白糠町の観光をPRする地
域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、ア
ウトドア。

■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



秋に捕獲されたシシャモの一部は「ふ化場」に運ばれ、底の砂利に卵を産み付けます。

年明け最初のイベント 恋問館初売り

1月3日（金）に恋問館の初売りが開催され、私は外の福引きコーナーでお手伝いさせていただきました。当日は早朝から多くの方にお集まりいただき、寒いながらも活気いっぱいでした！皆さん、お目当ての品は手に入りましたか？福引きでは、最後まで一つ残っていた一等の毛ガニが、最高にラッキーな男性に当たりました。うーん…うらやましいこと山のごとです。小さいお子さんを連れた家族も多く、素晴らしい晴天にも恵ま

れ、楽しい初売りとなりました。

白糠の美味が楽しめる イベント「味技フェス」

1月19日（日）開催の味技フェス。今年は10チームがエントリーし、白糠の素材を使用して料理を作りました。私は今回が初参加。作るお料理は各チームで異なるのですが、どれもみんなおいしくて驚きました！（もちろん全種類食べましたよ）来年はもっと多くの方に白糠の食と食材の魅力を知っていただくよう、町外に向けてPRしたいと考えています。

大人の社会科見学 シシャモの「ふ化場」

1月下旬に「庶路川ししゃも人工ふ化場」を見学させていただきました。この日は月に一度の検査の日で、12月に産まれた卵の状態確認を行うとのこと。私は移住後、本シシャモに接する機会が増えましたが、卵は今回、初めて見ることでございました。館内にはシシャモの生きたり漁に関するパネルもあり、まさに大人の社会科見学という趣で非常に楽しかったです。実は私、白糠ファンを増やすための観光周遊ツアー企画を立

案中で、まだアイデア段階ですが、ふ化場見学を周遊ツアーに組み込めたら…と思っています。モロッコ料理研究家のP・ウォルフアートは「食は人間を理解するための手段」と言っていますが、非常にシンプルかつ的を射た言葉だと思います。今、都市部の人の多くは「その土地の歴史・文化・自然を感じられる食に触れたい」と思っています。白糠でシシャモが育つさまに触れられる体験を提供することができれば、他の産地とは異なる魅力、他にはない大きな武器を先んじて手にすることができるとは…と考えています。